

提出された意見の要旨と市の考え方

No	意見の要旨	市の考え方
1	<p>素案の全文を読むのはページ数が多く困難。一般市民に対しては詳細の結果の他に、成果と課題だけ見やすくまとめて頂きたい。</p> <p>また、成果・課題は現状の文言だけの書き方ではなく、視覚的にもわかりやすくかつ定量的に記載(グラフなど)してほしい。</p> <p>より良い計画を目指すのは理解するが、普段から基本計画を熟知していない市民に対する理解活動も必要では。</p>	<p>本計画(第4期計画)から新たに計画中に指標を加えて具体的な目標値の設定を行うことといたしました。</p> <p>これらの進捗状況につきましては、教育委員会が毎年度行う「事務事業の点検・評価」の中で表形式にまとめ明らかにするとともに、結果をホームページ上で公表することとしておりますので、広く市民の皆様にご覧いただきたいと考えております。</p>
2	<p>「基本理念、先人が築きあげてきた伝統文化を次世代へ継承するとともに、本市独自の特色ある新たな地域文化の担い手となる人を育成します。」について、地域に誇りと愛着を持って、さらに地域の歴史について興味を持ち知識を得て、また次世代へと伝えてほしいと願う。</p>	<p>次世代を担う子どもたちに徳島市の歴史や文化を正しく理解する機会を提供し、地域に誇りと愛着を持ち、郷土のすばらしさを継承できるよう努めてまいります。</p>
3	<p>徳島市の小学校給食費が高く、食事内容と見合っておりません。</p> <p>無償化できれば一番いいですが、食事内容の見直しもよろしくお願ひします。</p>	<p>学校給食の献立は、学校給食摂取基準を目安にしながら、地産地消や地域の食文化の継承につながるよう、いろいろな食材を幅広く使用することなどを考慮しながら作成しています。</p> <p>今後も子どもたちの健やかな成長のために、喜んで食べてもらえる学校給食づくりに努めてまいります。</p>
4	<p>給食費を無料にして欲しいです。毎月の大きな負担になっています。</p>	<p>徳島市において、本市独自に給食費を無償化した場合、毎年12億円を超える費用が必要となり、あまりにも財政負担が大きいことから、国に対して全国一律の財政支援の要望を行っております。</p> <p>すべての子どもたちが平等で健康的な食事を取り、学力の向上や食育による人間形成ができるよう、すべての自治体における一律の給食費無償化実現に向けて、引き続き国へ財政支援等の要望を行ってまいります。</p>

No	意見の要旨	市の考え方
5	<p>子どもを持つ保護者が、ボランティア活動をしようとした時に繋がりを持ちたいのでポータルサイトを開設してほしいです。理由は、地域で繋がりたいくてもなかなか個人情報等の関係で希薄な繋がりだけになりがちです。ポータルサイトで、比較的簡単にボランティアに参加できるのではと思います。</p>	<p>保護者によるボランティア活動につきましては、任意の活動であるため、民間のポータルサイト等の活用をお願いしたいと考えております。</p>
6	<p>p13 教職員の負担軽減と経営感覚の醸成</p> <p>正規雇用の教職員だけではなく、非正規雇用の職員にも正規と同等の福利厚生と研修への参加機会があるかと思いました。</p> <p>正規雇用、非正規雇用を問わず、初めて経験する新人職員に対しては、研修やサポートが充分に行われることが望ましいと思いました。</p>	<p>市が雇用する非正規雇用の教員である学校支援助教員について、お答えします。</p> <p>学校支援助教員は、令和2年4月に施行された地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律（平成29年法律第29号）により導入され、地方公務員法第22条の2の規定に基づき任用される会計年度任用職員（非常勤職員）です。</p> <p>福利厚生について、正規雇用と同等の扱いとすることは、前提となる雇用形態及び条件が異なるため困難ですが、会計年度任用職員は、従前の臨時的任用職員等と比較して、休暇、福利厚生、手当等の拡充がなされています。</p> <p>また、研修の機会といたしまして、学校支援助教員に対しては、現在、市教育委員会において、年3回の全体研修を実施しているほか、学校が実施する校内研修等への参加機会もございます。</p> <p>今後においても、児童生徒への指導の充実を図るため、研修機会の拡充に努めてまいります。</p>
7	<p>学校教員のジョブローテーションを希望します。</p> <p>長く同じ学校で同じ職務をしていると、どうしても職務のタコツボ化になりがちです。そして、教員も主任ともなると言葉は悪いですが横柄な態度になりがちな印象です。</p> <p>これを、解消するには職員の定期的な配置転換、すなわちジョブローテーションを行うとタコツボ化を防ぐことができます。</p> <p>定期的にジョブローテーションを行うことで、他の業務も知ることができます。</p>	<p>教職員についても、人材育成や適材適所の人材配置の実現を目的として、毎年、人事異動を実施しています。</p> <p>また、校内での担当業務についても、学校長が教員のこれまでの業務経験を踏まえ、教員のスキル向上や能力開発等も意図して決定しているところです。</p> <p>さらに、学校における業務の円滑化や活性化を図ることができるよう、各学校において働きやすい職場環境づくりのための研修を実施しています。</p> <p>今後も、児童生徒にとってよりよい教育環境を整えることを目的に、教職員にとって風通しよく、働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。</p>

No	意見の要旨	市の考え方
8	<p>学童保育クラブの主任のジョブローテーションも行うとよいと思います。</p> <p>公設民営で、町内に複数ある学童施設では主任が20年間も同じ施設でいることが多いです。</p> <p>皆平等に業務が正しく行われるように、定期的にジョブローテーションをして人材を回していくとよいかと思いました。</p>	<p>学童保育クラブの運営につきましては、本計画の範疇に含まれておりません。</p> <p>いただきましたご意見については、担当部署に伝達いたします。</p>